

平成二十二年 成人式式辞

輝かしい平成二十二年の新春を迎え、本日ここに、人生の節目となる青梅市成人式を迎えられた、一、五四一名の皆様、心からお慶び申し上げます。

また、ご来賓の皆様方におかれましては、公私ともご多忙の中、新成人の門出を祝うために御臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

生涯に一度の「二十歳」という門出を迎えられた皆様の、明るく、はつらつとした姿を目の当たりにして、成人式を迎えられることをうれしく思いますとともに、皆様の将来が晴れやかに広がっていくことを願ってやみません。

さて、本日の成人の日は、皆様が法律上、権利と義務を与えられ、晴れて社会人として大人の仲間入りをしたことを自覚し、厳粛な人生の一步を踏み出したことを祝い励ます日であります。

皆様は、自らの判断と責任において行動する、つまり独り立ちすることが求められるようになりますが、皆様には若さというすばらしいものがあります。この若さを活かすためにも志をたてて、社会のために貢献できる人になって欲しいと思います。

昨年の九月に、アメリカ大リーグ、マリナーズのイチロー選手が、史上初となる九年連続二百本安打という偉業を成し遂げました。

そのときのコメントの中で、「小さいことを積み重ねることが、とんでもないところに行くただひとつの道だと思う」と言っています。

皆様は平成元年または二年に生まれ、今日までの間に、いろいろなことを経験されてきたと思います。これから先、今まで以上に多くの人たちと出会い、そして楽しいこと、苦しいこと、辛いことなど、さまざまな経験を積み重ねていくことと思います。その一つ一つにおいて努力し、また皆様の支えてくれるご家族、学校の先生、会社の上司などとコミュニケーションをとり、豊かな経験を積んでこられた方々の考えを聞きながら、よく考え行動することが必要です。

皆様が船出される現在の社会は、国際化、少子高齢化、情報化が急速に進展し、環境問題や格差問題など多くの課題を抱えています。このような中、社会は明るい未来を築くために、本日成人式を迎えられた皆様の、純粹で新しい発想と活発な行動力に大きな期待を寄せています。

「子の曰のたまわく これを知る者はこれを好む者に如しかず。これを好むものはこれを樂しむ者に如しかず。」

これは、中国の孔子やその弟子たちの言行を集めた書物「論語」に記載されている言葉です。人は、さまざまなものを見たり、聞いたり、触れたりしているうちに、ある特定の事柄に興味や関心を抱くようになりますが、興味を抱くと、もっと詳しく知りたくなります。そしてもっと知ろうと努めているうちに、段々にそのことが好きになり、それに関わることが習慣化してきます。習慣化してくると、もう好きとか嫌いとかを通り越して、そのことと一体となります。これが「樂しむ」ということです。物事は、それを樂しむという境地に至ったとき、はじめて自分自身のものになり、自らも豊かになるのです。イチロー選手もこの境地に至り、記録を達成したと思います。

どうか皆様、何事にもチャレンジと努力の精神を持ち、夢を忘れず、そして失敗を恐れずに果敢に自分の夢に向かって挑戦し、充実した人生を樂しんでください。

終わりに、この豊かな自然に恵まれた青梅に生まれ育った、皆様の輝かしい門出を心から祝福申し上げ、立派に成人させてくださったご両親を始め、ご家族の皆様への感謝の気持ちをお忘れずに、将来の青梅を、そして日本を担っていくようなご活躍を期待いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成二十二年一月十一日

青梅市長 竹内俊夫